

地域計画

策定年月日	令和7年3月28日
更新年月日	()
目標年度	令和14年度
市町村名 (市町村コード)	甲賀市 252093
地域名 (地域内農業集落名)	信楽町畑 (畑)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	6.2 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	6.2 ha
② 田の面積	5.4 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.1 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	0.3 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	0.3 ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

当地域の実際の耕作者は親世代である高齢者が主体であるため、将来、後継者が継続できなければ、現状維持が難しくなることが課題。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

農業者については、米作を主要作物とし、認定農業者および認定農業法人に集約化を図る。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農業後継者を確保するとともに、集落内外から担い手になれる方を探していく。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	63	%	将来の目標とする集積率
			63 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
認定農業者に集積を目指す。
(2)農地中間管理機構の活用方法
効率的な農地利用のため、農地の出し手はできるだけ農地中間管理機構を活用する。
(3)基盤整備事業への取組
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				
①従前設置されている獣害柵の維持保全				
②有機農業・環境こだわり農業の取り組み				

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 14 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
利用者		水稻	0.3 ha	ha	水稻	0.3 ha	ha	A	
利用者		水稻	0.1 ha	ha	水稻	0.1 ha	ha	B	
利用者		水稻	0.3 ha	ha	水稻	0.3 ha	ha	C	
利用者		水稻	0.4 ha	ha	水稻	0.4 ha	ha	D	
認農		水稻他	2.3 ha	ha	水稻他	2.3 ha	ha	E	
利用者		水稻	0.2 ha	ha	水稻	0.2 ha	ha	F	
利用者		水稻	0.3 ha	ha	水稻	0.3 ha	ha	G	
利用者		水稻	0.2 ha	ha	水稻	0.2 ha	ha	H	
利用者		水稻	0.2 ha	ha	水稻	0.2 ha	ha	I	
認農		水稻他	1.1 ha	ha	水稻他	1.1 ha	ha	J	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	10経営体		5.4 ha	0 ha		5.4 ha	0 ha		

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)